

学校名 [ 仙台市立桜丘小学校 ]

氏名 [ 松下 武士 ]

[ 小 ] 学校 [ 4・5・6 ] 年版

単元名 [災害が起きたら] P30～31

教科・領域名 [ 学校行事 ] [ 時間 45分 ]

主な学習活動（実際に行った活動）

指導の実際

1. 大きな災害が起こる前に何ができるか考えましょう。

2. 防災とは何か、改めて確認しましょう。

（発問）防災訓練は必要ですか？

- ・ 災害を防ぐことは「命を守る訓練」
- ・ 津波想定 of 訓練の意味

仙台市の被災地を訪ねてみよう。

3. 中野小学校が受けた被害の様子を知る。

- ・ 震災前の蒲生干潟や中野小学区の地理的環境について
- ・ 震災後の様子
- ・ いろいろな形で励ましてくれた人の紹介
- ・ 中野栄小学校との第1回交流会の紹介

4. 自分の身を守る方法を考える。

- ・ 大津波警報の意味
- ・ 確かな情報，避難，励まし合うこと

5. 今，できる準備をする。

- ・ いろいろな通信手段を知る。
- ・ 災害用伝言ダイヤル171の使い方

6. まとめ

- ・ 伝言ダイヤルなどの情報手段を使う時を想定して、「いざというときに伝えること」をあらかじめ考えておく。

（児童の反応）

- ・ 訓練の意味について改めて考えていた。
- ・ 災害用伝言ダイヤル171の使い方を理解し，体験利用できる日を確認していた。

- ・ 「児童・生徒による被災地訪問活動支援」（仙台市PTA協議会，10月23日）の事前学習として，地域防災訓練（9月21日）の1校時に学年で行った。



- ・ 桜丘中学校との防災訓練に参加する心構えとして，児童の実態を考慮し，防災副読本 P.31「津波からの避難の手引き（暫定版）P.27「災害用伝言ダイヤル（171）」を使用した。

- ・ 中野小学校の被害などの写真を見せる。  
→津波の被害について児童に具体的に知らせる効果があった。



←何を伝えるか  
を書く児童

（児童の感想）

- ・ 私は震災の時，電話が繋がらなくてとても大変でした。これからは災害用ダイヤルを使っていきたいと思います。
- ・ 私たちの地域は津波の被害がなかったので津波のことをよく知ることができました。今日の避難訓練は気を引き締めていきたいと思いました。
- ・ 防災訓練をしていれば助かる可能性が上がるということが分かった。